

平成 22 年度 秋期 システムアーキテクト試験 出題趣旨

午後 試験

問 1

出題趣旨

近年，業務横断での業務改善が増えている。このような業務改善では，複数の業務間で統一的に集計や分析をするために統一したコードを新たに設定することがある。システムアーキテクトは，業務改善を実現するために，全体最適の観点から統一コードの整備方針を策定する。その際，業務改善の目的を達成するだけでなく，与えられたコストと期間について配慮することも重要である。

本問は，現状の業務やシステムをどのような視点から調査し，どのような統一コードの整備方針を策定したか，また，どのような工夫をしたかについて，具体的に論述することを求めている。論述を通じて，システムアーキテクトに必要な業務やシステムの分析能力，仕様の調整能力などを評価する。

問 2

出題趣旨

業務システムは，部門ごとに独立したシステムとなっている場合がある。このため，企業内の情報共有を目的として，システム間連携が行われている。システムアーキテクトは，対象とする情報システムの開発に必要な要件を分析，整理し，その要件を実現する最適なシステム方式を設計する。

本問は，どのような業務要件を踏まえ，どのようなシステム要件を明確にし，その要件に基づいてどのようなシステム間連携方式を選択したかについて，具体的に論述することを求めている。論述を通じて，システムアーキテクトに必要な，システム間連携方式の設計能力，運用の実践能力などを評価する。

問 3

出題趣旨

組込みシステム開発において，システムアーキテクトは，製品企画等の要求仕様に基づき，システムの要件を分析し機能仕様を決定する。その際，ある機能を実現するためにハードウェアとソフトウェアとの適切な機能分担を設定し，それぞれへの要求仕様を取りまとめることが求められている。

本問は，ハードウェアとソフトウェアとの機能分担を題材として，開発工程設計，コスト設計，性能設計，再利用性など，機能分担を適切に設定するために必要な検討項目とその検討結果から得た機能分担の結論，及びそれに対する現在の評価について，具体的に論述することを求めている。論述を通じて，システムアーキテクトに必要な，システムの分析，設計の実践能力を評価する。